



2018年8月31日

各 位

会 社 名 株式会社神戸製鋼所  
代表者名 代表取締役社長 山口 貢  
(コード：5406、東証第1部)  
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長  
本田 和幸  
(TEL. 03-5739-6010)

### 兵庫県神戸市での電力供給事業に関する資金調達について

当社は、兵庫県神戸市での電力供給事業に関する資金調達について、プロジェクトファイナンスを採用することに決定し、本日、(株)コベルコパワー神戸第二を借入人とするプロジェクトファイナンスを組成いたしましたのでお知らせします。

#### 1. 資金調達の経緯

当社は、本年4月4日に「兵庫県神戸市における発電事業に関する会社分割（簡易新設分割）について」を開示いたしました通り、兵庫県神戸市において石炭火力発電所の建設を目指し、2015年3月には発電した電力全量を関西電力株式会社に供給する契約を締結しております。また、本発電所に関わる資金調達に向けて、電力供給を目的とした新会社である(株)コベルコパワー神戸第二を簡易新設分割により、本年5月に設立致しました。

なお、神戸市での本プロジェクトは、本年6月25日の環境影響評価書の縦覧期間満了を以て環境アセスメント手続きを全て終えております。また、8月30日には神戸市と環境保全協定を締結致しました。今後、速やかに建設工事に着手し、2021年度の3号機稼働を目指します。

#### 2. 資金調達の概要

- ① 調達方法           : プロジェクトファイナンス
- ② 調達金額           : 2,400億円程度
- ③ 調達契約調印日   : 2018年8月31日

なお、詳細は調達契約上の守秘義務により開示できません。

#### 【プロジェクトファイナンス採用の理由】

資金調達については、様々な観点からその手段を検討してまいりましたが、以下の理由からプロジェクトファイナンスに決定致しました。

プロジェクトファイナンスとは、特定の事業から得られる収益のみを返済原資とする資金調達方法のことです。

- ① 長期にわたる多額の事業資金を確保できること。
- ② 安定的なキャッシュフローが見込まれる電力供給事業は、プロジェクトファイナンスに適していること。
- ③ 対象事業そのものを担保とした上で、特別目的会社である（株）コベルコパワー神戸第二を事業主体とするため、格付け評価上オフバランス効果が見込まれ、当社の財務基盤の維持・強化に寄与すること。

■（株）コベルコパワー神戸第二の概要

- ・会社名：株式会社コベルコパワー神戸第二（2018年5月11日設立）
- ・代表者：木本 総一
- ・資本金：300百万円（神戸製鋼所100%）
- ・所在地：兵庫県神戸市灘区灘浜東町2番地
- ・発電規模：130万kW（65万kW×2）
- ・燃料：石炭
- ・発電方式：微粉炭火力 超々臨界圧発電
- ・供給開始時期：3号機 2021年度、4号機 2022年度

（ご参考）

■当社の電力供給事業の概要

	（既設）	（建設中）	（計画中）
会社名	（株）コベルコパワー 神戸（※）	（株）コベルコパワー 真岡	（株）コベルコパワー 神戸第二
住所	兵庫県神戸市灘区灘浜 東町2番地 （神戸製鉄所内）	栃木県真岡市鬼怒ヶ丘 15番地	兵庫県神戸市灘区灘浜 東町2番地 （神戸製鉄所内）
燃料	石炭	都市ガス	石炭
発電規模	140万kW （70万kW×2）	124.8万kW （62.4万kW×2）	130万kW （65万kW×2）
発電方式	微粉炭火力 超臨界圧 発電（SC）	ガスタービン・コンバ インドサイクル（GTCC）	微粉炭火力 超々臨界圧 発電（USC）
供給開始時期	1号機：2002年4月 2号機：2004年4月	1号機：2019年後半 2号機：2020年前半	3号機：2021年度 4号機：2022年度

（※）（株）コベルコパワー神戸は神鋼神戸発電（株）が2016年4月1日から社名変更

3. 今後の見通し

当該資金調達による業績への影響につきましては、軽微です。

本プロジェクトに関するこれまでの手続き等は、当社ホームページをご覧ください。

以上